

まんが  
昭和傑物伝

戦後日本は昭和が原点！

2022年刊行予定

クニ トシロウ 画  
坂本 誠一 編  
想友会 監修

文治堂書店

## はじめに

明治は遠くなりけり（中村草田男）が人々の口の端にのぼったのは大正15年をはさんだ昭和10年前後、明治の終焉から20数年後であった。

そして令和の現在は、平成の約30年をはさみ、昭和の時代から約30年を経た。しかし私たちにとっては決して「昭和は遠くなりけり」であってはならないと考える。あの悲惨な敗戦から70数年を経た今こそ、全てが失われた焦土から雄々しく立ち上がり、わが日本を世界有数の大国へ押し上げた「昭和」という時代をしっかりと検証するべきではないか。

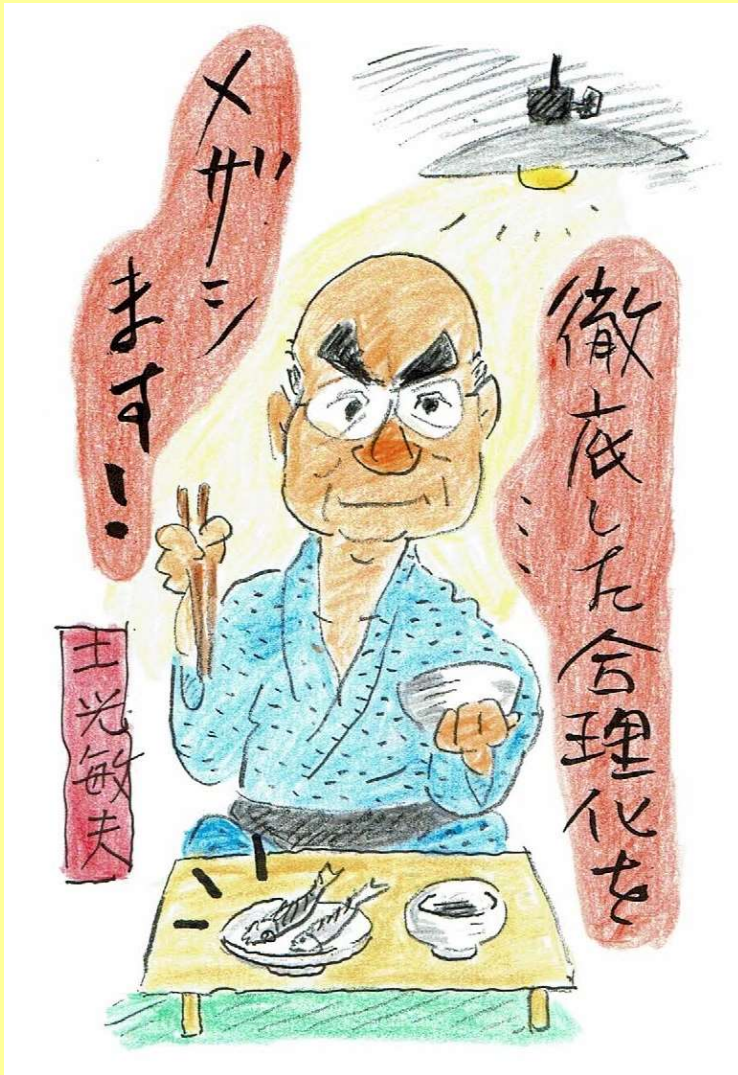
そこで、昭和の大躍進をになった政財界、文化・芸能界、スポーツ界の傑物に再び登場してもらい、彼等彼女らに学ぶことで困難なこの時代を乗り越えるエネルギーの勝て雄しい。そして何より戦後の「昭和」の繁栄は平和であったればこそである。「平和」の大切さを肝に銘じていただきたい。

令和3年10月

坂本誠一

## 土光敏光 (1896～1988)

現在の東京工業大学を卒業後、石川島造船所に入社し、14年後



の昭和25年社長に就任し、徹底した合理化で、経営再建を成し遂げる。その後、経営難に陥っていた東芝に請われ社長に就き、辣腕をふるい再建に成功する。78歳時、経団連第四代会長に就任し「財界総理」として、日本経済の安定に尽力する。私生活でも質実剛健を旨とし、「メザシの土光さん」で人々に親しまれた。

### 〈土光敏光の名言〉

- 合理化とは人をクビにすることではなく、人を活かすことである。
- 部下に仕事を任せるときは任せきる。